

さりげないセンシングと日常人間ドック、再生可能エネルギーの活用と蓄電池・EVの連携制御によるエネルギーの地産地消、オンデマンド相乗りタクシーなどの自治体MaaS、パーソナルデータを集中管理ではなく個人管理で安心安全に利活用できるパーソナルデータエコシステムによる横串連携など、多様な先進技術の連携により、住民が最先端のウェルビーイング（心身ともに健康で幸せな状態）を享受できる快適未来都市にする。また南新地地区をリビングラボと位置付け、ニューノーマル時代の新サービス創出拠点を目指す。



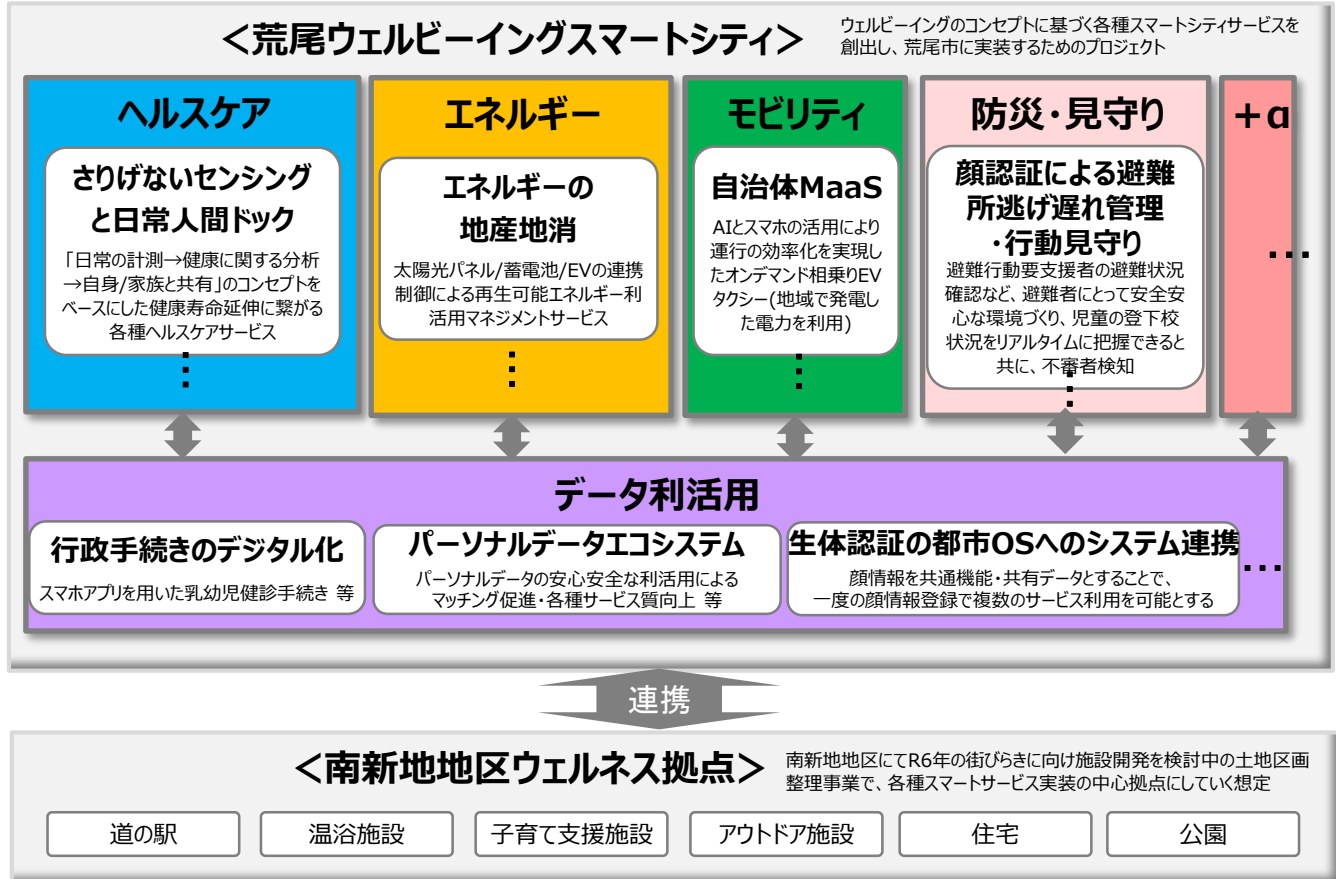
■対象区域の概要

- ・対象：熊本県荒尾市（南新地地区）
- ・人口：約5万人 ・面積：57.37km²

※南新地地区にて土地区画整理事業(南新地地区ウェルネス拠点整備事業)が進行中
 ※有明海沿岸道路の延伸、及び荒尾北IC(仮称)が新設予定

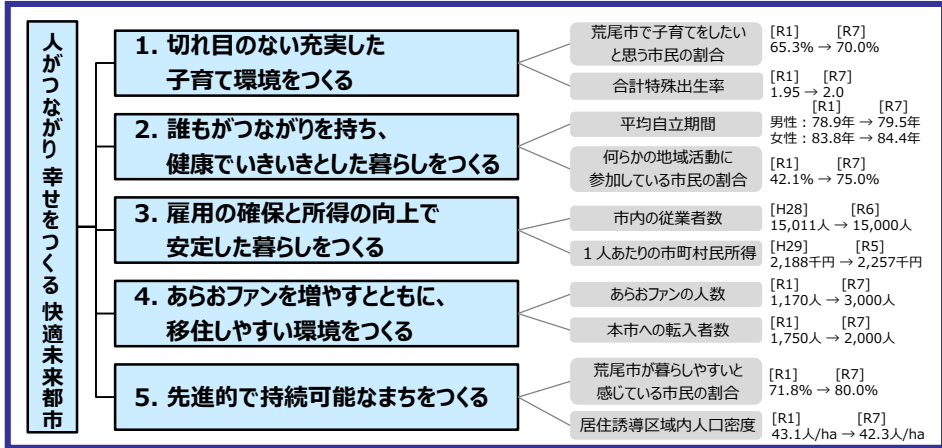


■本事業全体の概要

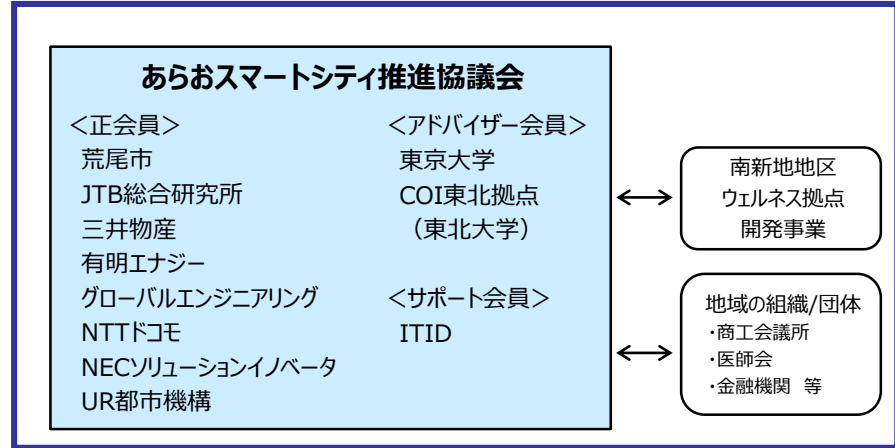


荒尾ウェルビーイングスマートシティ（あらおスマートシティ推進協議会）

■ スマートシティの目標(KPI)



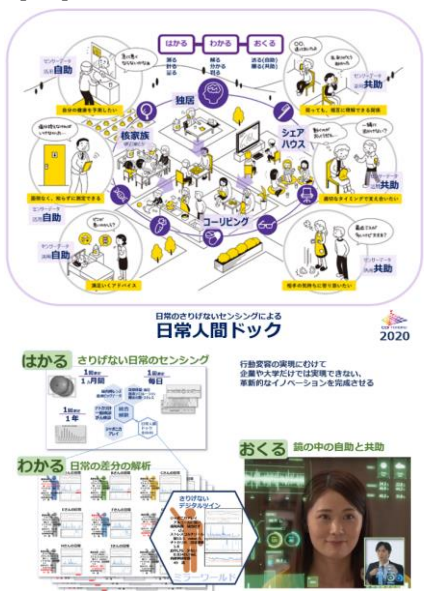
■ 運営体制



■ 導入技術

(現時点で計画中の導入技術であり今後追加の可能性あり)

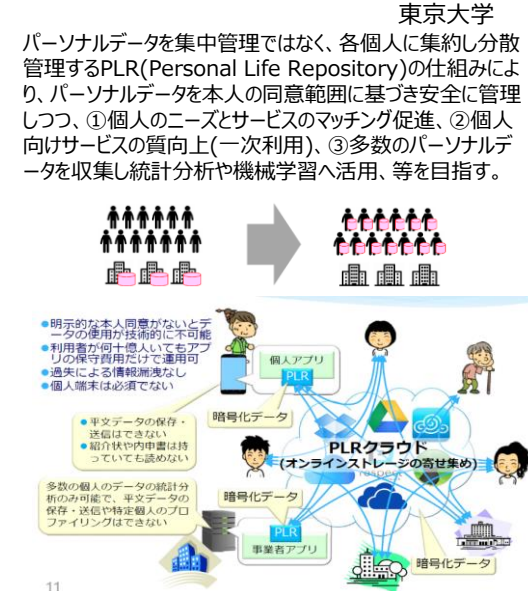
(1) さりげないセンシングと日常人間ドック



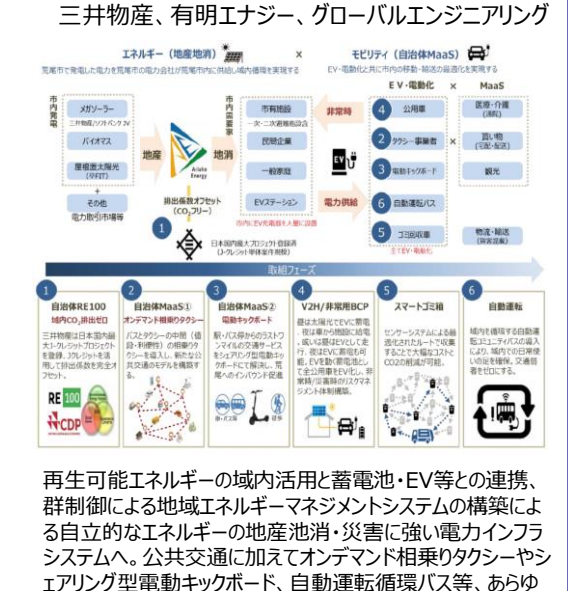
COI東北拠点（東北大学）
 センサー群を埋め込み、市民・来訪者が健康の重要性に気づき、交流と健康増進が図れるシステムを目指す。従来のセンサーの「はかる」→「わかる」から一歩進め、「はかる」という仕組みで、計測される本人だけでなく、家族等の他者にもデータが届く仕組みへ。



(2) パーソナルデータエコシステム



(3) エネルギー-地産地消×自治体MaaS



引用:和賀巖,末永智一「さりげないセンシングと日常人間ドックで実現する自動と共助の社会創生拠点」(2020)

11 引用:橋田浩一・東京大学,明治大学,文教大学,理化学研究所「パーソナルデータエコシステムの社会受容性に関する研究」(2019)

荒尾ウェルビーイングスマートシティ（あらおスマートシティ推進協議会）

■ ビジネスモデル

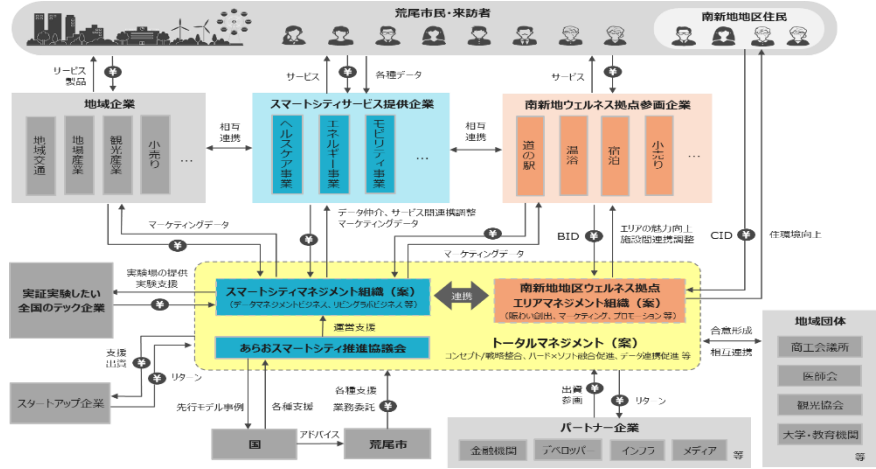
● 南新地地区ウェルネス拠点整備事業との連携

南新地地区では、旧荒尾競馬場跡地を含む34.5haの広大な土地区画整理事業(南新地ウェルネス拠点事業)の開発、有明海沿岸道路の延伸に伴う荒尾北IC(仮称)の新設が予定されており、将来的には新しい人の流れを生む見込みである。ウィズコロナ・アフターコロナを踏まえた新しいスマートシティ機能を、この南新地地区に埋め込み、新しいリビングラボとして運営することで、ユニーノーマルの世界における市民や来訪者に求められるサービスを創出し収益事業化を目指す。



● エリアマネジメント組織による事業のトータルマネジメント

南新地地区を中心にエリアマネジメントを行う専任組織を組成し、エリアの魅力向上・価値向上のための各種活動を行いながら、日本版BIDの活用や自主事業の創出等も視野に入れて、資金獲得のスキームを構築する予定。同時に、各種のスマートシティ事業をバラバラに運営するのではなく、全体俯瞰し横断的にトータルマネジメントする機能を持たせることで、各スマートシティサービスの収益事業化を追求しつつ、サービス間連携による相乗効果の創出、事業リスクの分散を図りながら、持続可能なエコシステムの形成を目指す。



■ スケジュール

荒尾ウェルビーイングスマートシティは、R7年度末の街びらきに向け土地区画整理事業を進めている南新地地区ウェルネス拠点を中心地として実装していくことを予定している。故に、南新地地区ウェルネス拠点における各種の施設開発・事業開発、エリアマネジメント準備と密に連携しながら検討を進め、R7年度末に本格的な事業開始を目指す。それまでの期間は、荒尾市内において先行的に、各分野で計画しているサービスの実証実験（PoC/PoB）及び実装を段階的に進めていく。

また、荒尾ウェルビーイングスマートシティは「ヘルスケア」「エネルギー」「モビリティ」「データ活用」「防災/セキュリティ・見守り」の分野間で、データの相互活用や連携サービスの創出など、各分野の掛け合わせによる相乗効果を目指しており、分野間で連携しながら検討を進める。また、並行して、各分野の取組を横断的に全体俯瞰しながら、データプラットフォーム構想を具体化検討し、段階的に環境構築及び実装を進めていく。

	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)	2024年度(R6)
南新地地区ウェルネス拠点整備事業・施設整備・エリアマネジメント		エリア組織形成準備		エリア事業準備	エリア事業開始
スマートシティ全体マネジメント	荒尾WBCS実行計画策定	スマートシティアーキテクチャ仮説検討	各施設開発との連携、都市OS・都市マネジメントの具体化検討	都市マネジメント事業準備	都市マネジメント事業開始
データプラットフォーム		サービス間連携検討	データPF構想の具体化	データPFを段階的に構築・運営	
データ活用		乳幼児健診手帳デジタル化 実証実験	他行政手帳デジタル化 実証実験	乳幼児健診手帳デジタル化 実証実験	乳幼児健診手帳デジタル化 実証実験
ヘルスケア	サービス仮説検討	新サービスアイデア検討	新サービス仮説具体化	新サービス実証実験(PoC/PoB)	新サービス 段階的に実装/運営
エネルギー	本庁舎 PV+蓄電池	総合文化センター PV+蓄電池	本庁舎/総合文化センター 経済性検証	本庁舎/総合文化センター 実証実験(PoC)	本庁舎/総合文化センター 実証実験(PoB)
モビリティ	自治体MaaS	自治体MaaS	自治体MaaS	自治体MaaS	自治体MaaS
防災/セキュリティ					

荒尾ウェルビーイングスマートシティ（あらおスマートシティ推進協議会）

荒尾市で今後想定される問題

人口のさらなる減少によって・・・
 賑わいの低下 産業の担い手不足
 地域経済衰退 医療費の高騰
 子育て環境悪化 交通機能低下
 空き家増加 ...

取り組む課題（重点戦略）

1. 切れ目のない充実した子育て環境をつくる
2. 雇用の確保と所得の向上で安定した暮らしをつくる
3. 誰もがつながりを持ち、健康でいきいきとした暮らしをつくる
4. あらおファンを増やすとともに、移住しやすい環境をつくる
5. 先進的で持続的なまちをつくる

重点施策

南新地ウェルネス拠点整備事業
 （競馬場跡地の再開発事業）

×

スマートシティ事業
 （ヘルスケア+エネルギー+モビリティ+α）

ニューノーマル時代への適応

生活
 健康意識、衛生意識
 イエナカ充実志向、節約志向
 非三密、アウトドア活動増
 家族第一志向
 好きな地に居住

働き方
 オンライン会議
 リモートワーク使い分け
 ワケーション浸透
 ワークライフバランス

消費
 現金からキャッシュレスへ
 テイクアウト・デリバリーのさらなる発展
 近場、自然、静かな場所へ旅行 ...

■ まちの将来像・ビジョン

